



加藤 元の



と暮らして  
みませんか

34

猫の体には、驚くべき特長がたくさんあります。この特長を知っておくことは、猫とともに暮らすうえで、大いに役立ちます。今回は、猫の目と視覚についてふれておきたいと思います。

さつそく、猫の目をよく観察してみるとことにしましょう。体の大きさに比べて目が大きい、しかも黒目が大きいことも猫の目の特長です。

瞳孔（黒目の中の大きくなったり小さくなったりする部分）が、犬や人間とは違って、明るいところでは針のように縦に細くなり、暗いところでは黒目い

## 猫の目

### わずかな変化も見逃さず

つばいに（丸く）広げることができのです。

猫の目は上下を広く見通すことが得意で、小さなものや少しでも動くようなものでも、決して見逃しません。もちろん大好きな家族のわずかな表情の変化も見逃してはいないのです。

さらに、猫は犬と違って、空間の広がりをよく認識でき、物の距離や高さなども正確に見ることができるのです。それで、飛んでいる小さな虫や鳥でも巧みにとらえることができるのですが、マンシヨンのベランダなどでは、猫が夢中になって、落下する事故が多いので、ネットなどを張って、予防処置を講じてやる必要があります。

また、人間ではまったく見えないう暗闇の中でも、猫ははっきり見ることが出来ます。猫は、目の奥の網膜の後ろにある、わずかな光もよく集めることのできる反射板が発達しているからです。夜、目が光ってみえるのは、目の奥の反射板が光ってみえるからです。

猫はほとんど色の区別ができない色盲です。猫の目からすれば、カラーのない世界なのです。しかし、ちょっととした明るさの変化、小さなものの形まで見分けることができる、すばらしい目と視覚を持っているのです。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2004年12月5日掲載》